

【参考資料】

活動効果及び今後の活動展開に関する調書

島田市協働のまちづくり推進事業費補助金は、市民が主体的に取り組む事業で公益性を有するものに対して、まちづくりの推進を活動の目的とする広く市民に開かれた団体を支援、育成するとともに、将来自立が見込まれる活動を支援するものであり、その活動に対する補助金の交付は最高で7か年となっております。つきましては、今回申請した活動について、その活動効果及び今後の活動展開について記載してください。

1 活動効果について

※活動の社会的公共性の根拠や地域社会への貢献等、活動によってもたらされる効果について、セールスポイントを交えて記載してください。

別記様式 事業計画書の「事業により得られる効果」についてセールスポイントを交えて記入してください。

2 今後の活動展開について

※今回申請した活動について、補助金交付が終了した場合の活動展開（活動手法や自立の方法等）について記載してください。

（特に「推進支援」・「拡大支援」に応募する団体は審査対象ですのでアピールください）

※団体によって該当する補助金の種類や年数は異なりますので、適宜該当する年数に書換え記入ください。

※「補助を受ける年度ごと」と「補助終了後」に目指す活動の展開（活動手法や自立の方法等）について記入ください。

※まず「補助終了後に目指している未来の“事業（活動）の発展”と“団体の自立の姿”」を考え、その後逆算して補助を受ける年度ごと展開を考えると記入しやすいかもしれません。

例）以下のような成長段階を経て、私たちは事業（活動）の発展と団体の自立を目指していきます。
（「スタートアップ：補助上限5万（補助率3/4以内）」からはじめた場合の記入例）

【活動開始支援（スタートアップ）】

補助1年目の年に目指している活動の展開は●●です（でした）。

活動の展開●●に向けて私たちは××のような活動手法をとり活動します（しました）。

団体の自立に向けて私たちは▲▲をします（しました）。

【活動育成支援（ホップ）】

補助2年目の年に目指している活動の展開は●●です（でした）。

活動の展開●●に向けて私たちは××のような活動手法をとり活動します（しました）。

団体の自立に向けて私たちは▲▲をします（しました）。

補助3年目の年に目指している活動の展開は●●です（でした）。

活動の展開●●に向けて私たちは××のような活動手法をとり活動します（しました）。

団体の自立に向けて私たちは▲▲をします（しました）。

【活動推進支援（ステップ）】

補助4年目の年に目指している活動の展開は●●です（でした）。

活動の展開●●に向けて私たちは××のような活動手法をとり活動します（しました）。

団体の自立に向けて私たちは▲▲をします（でした）。

補助5年目の年に目指している活動の展開は●●です（でした）。

活動の展開●●に向けて私たちは××のような活動手法をとり活動します（しました）。

団体の自立に向けて私たちは▲▲をします（しました）。

【活動拡大支援（ジャンプ）】

補助6年目の年に目指している活動の展開は●●です（でした）。

活動の展開●●に向けて私たちは××のような活動手法をとり活動します（しました）。

団体の自立に向けて私たちは▲▲をします（しました）。

補助7年目の年に目指している活動の展開は●●です（でした）。

活動の展開●●に向けて私たちは××のような活動手法をとり活動します（しました）。

団体の自立に向けて私たちは▲▲をします（しました）。

【補助終了後】

補助終了後に目指している活動の展開は●●です。

活動の展開●●に向けて私たちは××のような活動手法をとり活動している予定です。

団体の自立方法として私たちは▲▲している予定です。